

やっちろ保健室
～困ったときは
お互い様！～企画発表

発表者：蓑田 ヌキ



やっちろ 保健室

~困ったときは、お互い様!~

プレゼンテーションの概要

今日のトピック

- 1、「やっちろ保健室」について
- 2、八代市坂本町の現状と課題
- 3、これまでの活動状況
- 4、活動計画
- 5、目指したい未来とは？

やっちろ保健室とは？①

私たちが発足した理由は・・・

令和2年7月熊本南部豪雨災害
がきっかけに発足しました。

「災害支援にこそ、
コミュニティナーズの考え方が
必要である。」



やっちら保健室とは？②

1、高齢者の
こころとからだの
健康支援が軸です。

2、医療と地域の
連携を図ります。
そのために
「保健室」という
名称を付けました。

3、暮らしの導線に
相談窓口を設置
します。

八代市坂本町の現状と課題

高齢化すべての地区50%を超えています。

人口約3325人 そのうち60歳以上が約2032人
もともと高齢化率が高い地域です。

買い物や病院への受診は車運転が必要です。

坂本町は範囲がとても広いです。
一部乗り合いタクシーなどもありますが、
電車も被災し交通手段が車のみとなりました。
(部分的に訪問診療や移動販売者はあります。)

我慢強い方が多いです。

自然と共の暮らしをされてこられ、また坂本町は
範囲も広いため不自由な生活の中に工夫されながら
生活をされています。地域のコミュニティを大切に
しています。なので、地域のコミュニティ以外に
頼るということにあまり慣れていません。

過疎化が進んでいる地域です。

自然豊かな地域にて魅了され移住された方もいらっし
やいますが、今回の災害から更に正直過疎化は進んで
いきます。

このことから、コミュニティナーズの考えが必要です。

これまでの活動状況

まずは現場の声を聞いて

・坂本町の住民さん、支援するボランティア団体、そして行政にも実際にお話を聞き、ニーズ調査を行いました。

・医療機関にも「やっちろ保健室」の話をし、連携がどのように取れるか確認を行いました。

・高齢者のココロとカラダの健康支援のために基本となる勉強会を開催しました。傾聴・受容を高めるためにコミュニケーション方法、バイタルサイン測定方法、急変時の対応についてです。YouTube限定動画撮影にて見ることができます。



2020年

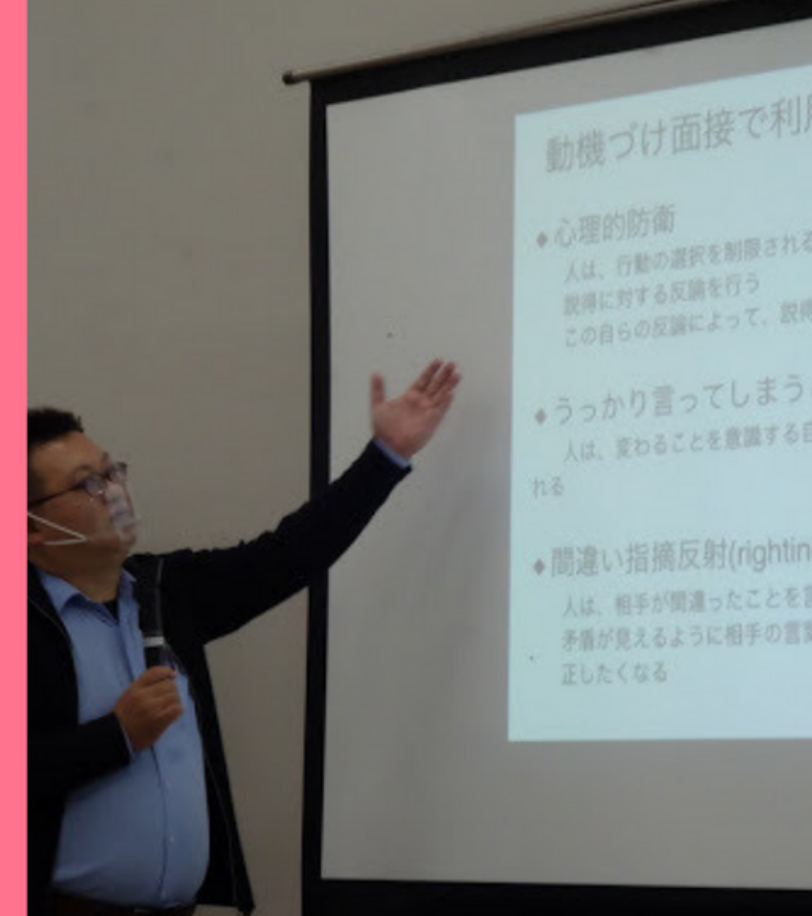
勉強会動画

② 動機づけ面接（初心者編）
ちょっとしたおせっかいのコツ

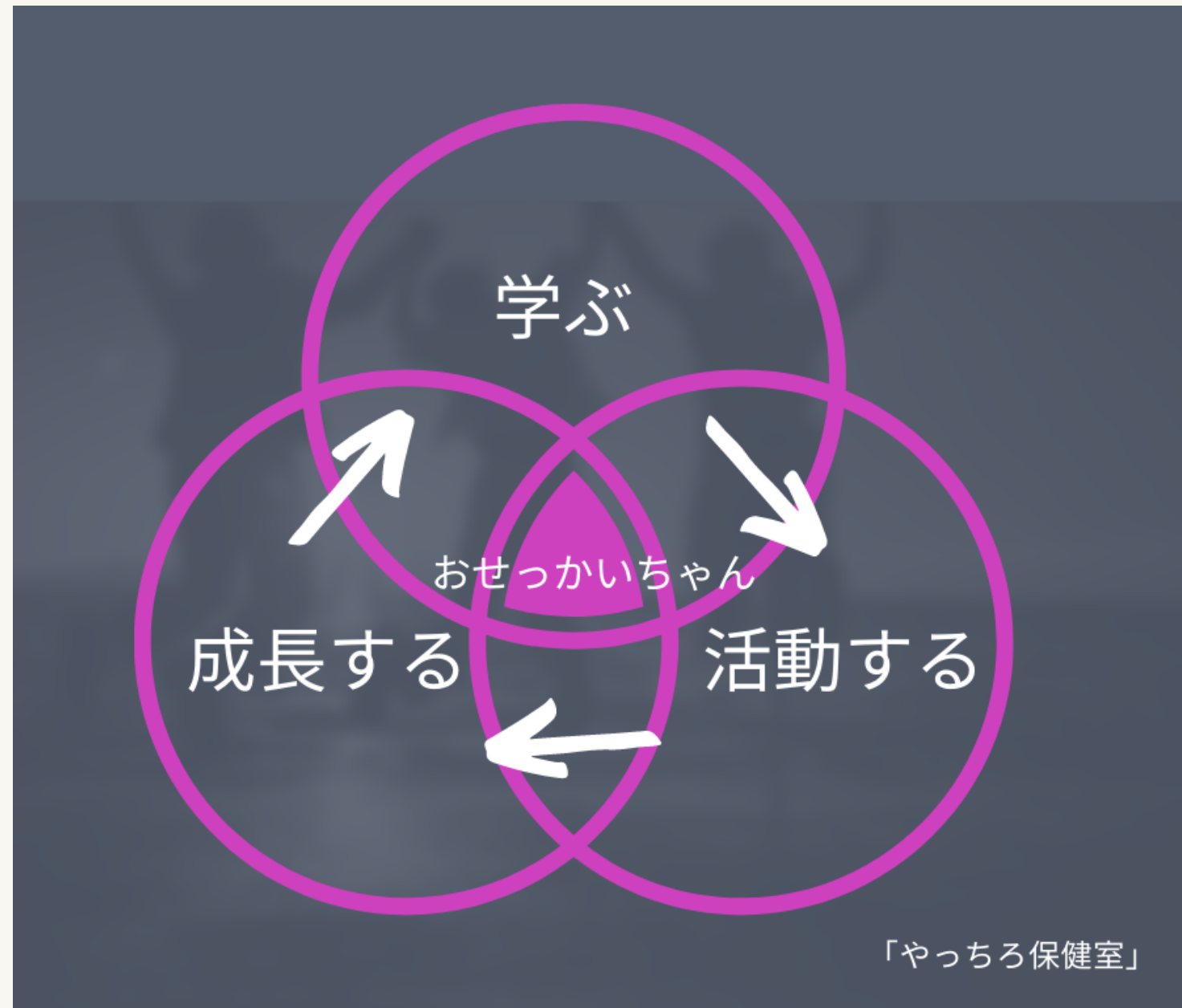
～八代市坂本町の復興に向けて～

おせっかいちゃん

☆
発掘 & 育成
プロジェクト



私たちの活動企画



1、医療について学ぶ場所を作ります。

医療について学ぶ場を5回コースで開催します。

↓場所は同じところ です。

- ①認知症について ②癌について
- ③終末期医療（エンディングノート活用）
- ④医療や介護の制度について
- ⑤看護とは？介護とは？～現場の声を知る～

2、実際に拠点地で活動します。

八代本町2丁目にある「お弁当たばた」と、八代市坂本下鶴公民館で各月に1回「暮らしの保健室」を開催します。

3、活動の振り返りをして今後に生かします。

現場リーダーを中心に良かったこと・改善点を2ヶ月に1回振り返りをします。八代市本町には意見箱を設置します。

保健室で実際に行うことは？



バイタルサインセットは。



ノートに記録をします。



「楽しみ」を最低限1つは提供できるようにします。

資金計画（申請額40万円）

人件費

保健室
各1回ずつで2人体制
専門職 5千円
それ以外 3千円
19万2千円

動画撮影・編集代
1回1万4千円（5回分）
7万円

謝金（交通費含む）

1回2時間 2万円
交通費4千円
5回分
12万円

場所代

保健室は1時間500円
本町は4時間
坂本町は2時間
各12回分 2万4千円

勉強会会場
2時間6千円
5回分 3万円

備品

お茶代1回3千円
24回 7万円2千円

暮らしのノート代
1冊150円 20人分
3千円

他印刷代、
消毒用品など

＊1年間の活動費として60万円6千円必要になります。

「やっちろ保健室」の強み

1、プロジェクトメンバーは60歳以上であり、知識・経験ともに豊かです。

「温故知新（おんこちしん）」を大切にしています。

また高齢者の方の気持ちについてもより理解でき、ココロに寄り添えると思います。

2、保健室で活動する人材発掘&育成を最も大切にしています。

そのためには継続することが必要であり、最低10年続けていけるようにします。

3、行政や医療機関などに相談しづらいことなどに対しての橋渡しの役割を担います。

情報提供する際は同意を得て、必要なところへ繋がめます。

目指したい未来とは

1人暮らしになっても、
高齢になっても、
認知症になっても、

住み慣れた地域で暮らすことができるように。

～困ったときはお互い様！～

ご静聴ありがとうございました。
